

# 令和6年度 延岡市立北浦小学校 学校評価書

[4段階評価] 4…期待以上 3…ほぼ期待どおり 2…やや期待を下回る 1…改善を要する						
評価項目	努力事項(評価の観点)	具体的実践事項(評価の規準)とゴールイメージ	学校の状況 黒文字 ⇒ 赤文字 (R5) (R6)	自己評定	学校関係者評定	結果の考察・分析及び改善策等 (◎達成状況がよい、●課題、☆改善策、※委員のコメント)
<b>【重点推進事項(評価の視点)】 きまりを守り、礼儀正しく思いやりのある児童の育成</b>						
德育	時間やきまりを守る指導と挨拶や礼儀指導	① 時間を意識した行動の指導 ② 会釈や気持ちのよい挨拶の指導  ゴールイメージ 時間やきまりを守り、挨拶がしっかりできる児童が80%を占める。	どの学年もチャイム黙想やあいさつなどの指導の徹底に努めた。 ★時間やきまり、あいさつについて意識して指導した教師 93% ⇒ 100% ★時間やきまりを守りあいさつができると答える児童 94% ⇒ 94% ★子どもが時間やきまりを守りあいさつができると答える保護者 88% ⇒ 90%	3.0	3.1	◎チャイム黙想での授業開始、あいさつ標語の作成などに継続して取り組み、児童の意識も高まっている。  ※児童が自ら考えた標語をのぼりの形にして校門はじめ関係機関に掲示し、PRを行うことはとても素晴らしい取組であり、今後も継続してやってもらいたい。 ※元気な様子が見えます
	いじめ・不登校の未然防止や早期発見・早期対応	① いじめ等、問題行動の予防的指導の充実 ② いじめの早期発見・早期対応  ゴールイメージ 安心して学校に通えると回答している児童が90%以上を占める。	毎月、心のアンケート、教育相談を実施し、実態把握に努めている。関係機関と連携し、未然防止、早期対応ができた。 ★いじめ、不登校の対応に努めた教師 100% ⇒ 94% ★安心した気持ちで学校に通っていると答える児童 89% ⇒ 91% ★子どもが安心した気持ちで学校に通っていると答える保護者 91% ⇒ 94%	3.8	3.1	◎早期発見、早期対応に努め、重大ないじめや問題行動などは起きていない。 ☆児童の困り感に対して今後も支援していきたい。  ※教育相談の取組がよい。宿題として出るので、安心して子どもたちも書くことができている。 ※対応に努める教師への指導等理解と共有を図りながら100%を目指してもらいたい。 ※いじめから不登校、引きこもり等の話を聞くと、心痛いでですが、北浦小の児童は安心ですね。
	児童自身による主体的・協働的な教育活動の充実	① 児童が主体となる学校行事等の推進 ② 児童の主体性を生かす委員会活動の推進 ③ 児童・生徒合同の教育活動の実施  ゴールイメージ 主体的に関わっている児童が80%を占める。	委員会が企画し、児童主体の全校集会や児童集会、運動会などを行なうことができた。 ★委員会活動を児童主体で行なうように意識した教師 100% ⇒ 100% ★主体的に関わっていると回答した児童 79% ⇒ 85%	3.7	3.7	◎児童が「チャレンジ集会」を企画し交流を深めたり、運動会実行委員会を立ち上げ運動会を盛り上げたりするなど、児童の主体的な活動が見られた。 ☆今後も主体的に活躍できる場や機会を意識した教育活動を行っていきたい。 ☆小中合同ができる教育活動についても、今後検討をしていきたい。  ※今年の運動会は、子どもたちの主体性がとてもよく見られた。 ※読み聞かせて図書委員の子が活躍したり、イベントを考えたりしてとてもよい。
	豊かな心を育む指導の充実	① 道徳科における指導の工夫・改善 ② 人権同和・特別支援教育の充実 ③ ピアサポートの取組の充実  ゴールイメージ 思いやりを發揮できていると回答する児童が80%を占める。	道徳と他教科や日常生活の関連を整理した資料を作成し、参観日に道徳・人権教育等の授業公開を行った。 ★人権や思いやりについて指導した教師 100% ⇒ 100% ★思いやりを發揮できていると答える児童 89% ⇒ 96%	3.4	3.7	◎全学級で参観日に道徳・人権教育の授業公開を行い、他者との関わり方について親子で考える機会となった。  ※参観日の保護者の参加は多いのですか？ ⇒どの学年も、概ね70～80%の出席率です。
	緊急時安全対策の徹底と危機回避能力の育成	① 安全点検の充実 ② 小・中・地域と連携した避難訓練の実施 ③ 安全対策マニュアルの見直し・修正  ゴールイメージ 「おはしも」を意識して避難する児童が95%を占める。	毎月、安全点検を実施し施設の安全に努めている。「防災を考える日」を設定し、町と合同の防災訓練や津波・地震・火災・風水害・不審者に係る避難訓練を実施している。 ★安全教育、防災教育に務めた教師 100% ⇒ 100% ★「おはしも」を意識して避難できた児童 99% ⇒ 97%	3.7	3.7	◎小、中、地域と連携した避難訓練を実施することができた。防災士を招き、避難時の生活につながる防災グッズ（段ボールベッドや新聞紙スリッパなど）の作り方なども学ぶことができた。 ☆防災に関する学習は、小、中学校で内容を確認し、実態に応じた取組となるように改善をしていきたい。  ※地震、津波以外にも、今年度のような大雨の時の話も増やすとよい。 ※いつでもどこでも対応できる避難を身に付けてほしいです。

# 令和6年度 延岡市立北浦小学校 学校評価書

[4段階評価] 4…期待以上 3…ほぼ期待どおり 2…やや期待を下回る 1…改善を要する						
評価項目	努力事項(評価の観点)	具体的実践事項(評価の規準)とゴールイメージ	学校の状況 黒文字 ⇒ 赤文字 (R5) (R6)	自己評定	学校関係者評定	結果の考察・分析及び改善策等 (◎達成状況がよい、●課題、☆改善策、※委員のコメント)
<b>【重点目標(評価の視点)】 基礎的・基本的な内容の習得と表現力の育成、学習・読書習慣の定着</b>						
知 育	基礎的・基本的な内容の習得に向けた取組の充実	<p>① 学力検査結果を活用した授業改善と基礎的・基本的な内容の徹底          ② わかる・できる喜びを感じる授業の実践          ③ 読書活動の推進          ④ 新聞等への投稿</p> <p>ゴールイメージ          学力調査において、前年度より正答率が伸びる。          単元テストの平均点が全国平均を上回る。          わかる・できると実感する児童が80%を占める。          読書量が前年度より伸び、新聞投稿へ出品する児童が増える。</p>	<p>全国・県学力調査結果の分析から課題となる内容を確認し、授業改善につなげた。          日々の授業の中でわかる・できる喜びを感じる授業実践を意識し取り組んでいる。          ★児童が「分かった」「できた」と感じる授業の工夫・改善に努めている教師  <math>100\% \Rightarrow 100\%</math>          ★単元テストの平均点が全国平均を上回る学級  <math>83\% \Rightarrow 89\%</math>          ★授業で、「分かった」「できた」と感じている児童未実施⇒<math>94\%</math>          ★年間貸出冊数　1人平均 (R5 21.9冊⇒R6 21.7冊)          ★新聞投稿に取り組んだ学級　68%⇒</p>	3.2	3.0	<p>◎課題や実践内容を意識し、日々の授業で積み重ねていくことで、授業改善や授業力の向上につながってきている。          ●学力検査の結果から、どの学年においても多くの情報から必要なことを選択し、課題を解決していく力に課題が見られる。          ☆4年生はタブレットを使った学力調査となるので、検査方法への慣れも必要である。</p> <p>※小学校でタブレットを学び、スキルをつけるが、中学校での活用がほぼない。小～中、同じようにタブレットを使った学習を取り入れてほしい。</p> <p>※新聞投稿の目的と内容は？          ⇒掲載されることで、作文への意欲や意識を高めたり、文を書く、読む力を高めたりするなどがあります。行事の感想文や日記など、学期に1人1回は、新聞投稿をするようにしています。</p>
	主体的・対話的で深い学びの実現に向け、個別最適な学びと協働的な学びの実現	<p>① 個別最適な学びと協働的な学びの実          ② Qubenaとロイロノートの効果的な活用          ③ ひなたの学びの実践</p> <p>ゴールイメージ          1日1回はタブレット端末を活用した授業、協働的な学びに着目した授業研究会、ひなたの学びを達成していると思っている児童が80%を占める。</p>	<p>どの学年もタブレット端末を活用した授業の工夫・改善に努めている。また、協働的な学びに着目した相互参観授業などを全員が行い教師の指導力向上に努めた。</p> <p>★ICTの活用や協働的な学びの充実に努めている教師  <math>67\% \Rightarrow 100\%</math>          ★タブレットを活用した学習をがんばっている児童  <math>89\% \Rightarrow 87\%</math>          ★話し合いを頑張っている児童　<math>81\% \Rightarrow 84\%</math>          ★学校は授業でタブレットを積極的に活用していると答える保護者　<math>78\% \Rightarrow 79\%</math></p>	3.2	3.0	<p>◎様々な教科でタブレットを活用した学習をする場面が見られるようになった。          ●協働的な学び（協力して課題解決を目指す学び方）について、有効な取組や実践を今後も深めていく必要がある。</p> <p>※タイピングが速い。中学校でも続けてほしい。          ※保護者の認識があまり変わっていないことから、参観日や集会時などのPRが必要かと思われます。</p>
評 価 項 目	家庭と連携した学習・読書習慣の定着	<p>① 学習習慣形成の指導          ② 家庭学習の定着・充実          ③ 「家読」運動の推進          ④ ボランティア等による読み聞かせ活動の充実</p> <p>ゴールイメージ          学校と家庭が家庭学習の意義や内容について共通理解できている。          児童の読書量が増えたと答える保護者が前年度より増える。</p>	<p>学習のきまりを年度当初の参観日や個人面談などで共通理解した。分館職員やPTAボランティア、職員、委員会児童による読み聞かせなど、読書に親しみ取組を実施した。</p> <p>★家の勉強をがんばっている児童  <math>76\% \Rightarrow 65\%</math>          ★子どもが家の勉強をがんばっていると答える保護者  <math>68\% \Rightarrow 81\%</math>          ★子どもの読書量が増えてきていると感じる保護者  <math>30\% \Rightarrow 32\%</math></p>	3.0	3.0	<p>●子どもたちを取り巻く環境が年々変化し、スマートフォンを所有する子も増えるなど、家庭学習の定着や充実について、見直していく必要がある。          ☆学級懇談で家庭学習の目的や家庭での関わり方等について話し合う場の設定が必要である。</p> <p>※150周年ということもあります、ロゴマーク、川柳、思い出アートなど今年度は家族で取り組む宿題が多くてよかったです。          ※家庭での学習や読書の習慣付けは、個人差もあり難しい面もあるかと思われますが、学校側からの粘り強い働きかけをしていってもらいたい。          ※児童と保護者ががんばっているの差があるのが結構開きがあるようですね。</p>

# 令和6年度 延岡市立北浦小学校 学校評価書

[4段階評価] 4…期待以上 3…ほぼ期待どおり 2…やや期待を下回る 1…改善を要する						
評価項目	努力事項(評価の観点)	具体的実践事項(評価の規準)とゴールイメージ	学校の状況 黒文字 ⇒ 赤文字 (R5) (R6)	自己評定	学校関係者評定	結果の考察・分析及び改善策等 (◎達成状況がよい、●課題、☆改善策、※委員のコメント)
<b>【重点目標(評価の視点)】 健康的な生活習慣の定着と体力の保持・増進</b>						
体育	家庭と連携した基本的生活習慣の確立	① 「早寝・早起き・朝ごはん」「歯科受診率向上」の推進  ゴールイメージ 早寝・早起き・朝ごはんの定着が80%を占め、歯科受診率が70%以上を目指す。	「元気っ子」週間を年2回設定し、家庭と連携した生活習慣の確立に努めた。 虫歯治療の啓発活動を行い、歯科受診率は39%だった。  ★家庭と連携し、基本的生活習慣の確立に努めている教師 未実施⇒100% ★早寝、早起きができる児童 71%⇒81%	3.2	2.9	◎元気っ子週間の取組により長期休業明けの生活リズムの乱れを整えることができた。 ☆歯科受診率が低かったため。学年に応じた指導や声かけ、ほけんだよりを通して保護者への啓発に継続して取り組む。 ●メディアの使い方については家庭との連携が必要である。  ※元気っ子週間は、年3回でもよい。 ※歯科受診率がなかなか上がらないようですが、啓発の他、何らかの効果的な取組を考えていくことが必要かと思われます。 ※寝る子は育つ！ぐっすり寝て朝ごはんを食べて元気に登校。 歯は元気の素、子どもたちだけでなく大人も大切。
	自立弁当日の取組の充実と食育の推進	① 「自立弁当の日」への取組の充実 ② 家庭やPTA活動と連携した食育の推進 ③ 家庭科や学級活動等の関連的指導の充実  ゴールイメージ 自分の食生活に関心をもつ児童が80%を占める。	年2回自立弁当の日を設定し、家族とともに弁当づくりに関わっている。また、栄養教諭による食育指導を行っている。 学校保健委員会で、保護者向けに食育に関する講演会を実施した。また、2学期に給食試食会を実施した。  ★給食の好き嫌いをしないようにがんばっている児童 89%⇒93% ★学校は自立弁当の日の設定や食に関する指導の充実に取り組んでいると答える保護者 100%⇒94%	3.3	3.1	◎栄養教諭による日常指導や自立弁当の日に向けての事前指導を行なう家庭と連携した取組ができた。 ◎学校保健委員会では、「ピラティス講座」や「親子で腸活」などのテーマで地域の方や本校職員が講師となった取組が効果的だった。  ※自立弁当の日という取組は素晴らしい。ある学年が、夏・冬休みの宿題に料理を入れていた。親の時間にもゆとりのある長期休暇に料理をするのはとてもよい。 ※食育は子どものころからしっかり覚えてほしいです。一生のことです。「食品ロス」についても指導してもらいたいです。
	運動の日常化・継続化による体力向上	① 授業前のランニングの推進 ② 外遊びの奨励 ③ スクールスポーツプランの活用・推進  ゴールイメージ 運動に積極的に関わろうとする児童が70%を占める。	体育の授業開始時に、ランニングをして体力向上に努めている。また、昼休みの外遊びを奨励し、多くの児童が元気よく遊んでいる。 体力向上プランを見直し、柔軟性を高める運動に取り組んでいる。 ★体力向上や外遊びの奨励に努めた教師 90%⇒100% ★運動をがんばっている児童 84%⇒80% ★学校は児童の体力向上に取り組んでいると感じる保護者 未実施⇒93%	3.8	3.4	◎どの学年も外遊びを積極的に行い、体を動かす習慣が身に付いている。 ☆体力テスト結果を受けた対応の1つとして、委員会児童による体力向上につながる運動の紹介があり児童の意識が高まった。次年度も継続していきたい。  ※外で遊ぶ子どもたち、見てるだけで楽しいです。

# 令和6年度 延岡市立北浦小学校 学校評価書

[4段階評価] 4…期待以上 3…ほぼ期待どおり 2…やや期待を下回る 1…改善を要する						
評価項目	努力事項(評価の観点)	具体的実践事項(評価の規準)とゴールイメージ	学校の状況 黒文字 ⇒ 赤文字 (R5) (R6)	自己評定	学校関係者評定	結果の考察・分析及び改善策等 (◎達成状況がよい、●課題、☆改善策、※委員のコメント)
<b>【重点目標(評価の視点)】 ふるさと北浦を大切にする教育の充実と地域に貢献する人づくり</b>						
地域連携	地域素材・人材の活用	① 授業等における地域素材・地域人材の積極的活用 ② キャリア教育の充実  ゴールイメージ 学年の学習内容に応じた地域素材・人材を活用した授業実践	保護者や地域の方々にご協力いただき、4年生の防災学習や5年生の家庭科の授業などでサポートをしていただいた。どの学年も実態に応じて地域の様々な施設の見学を行った ★地域素材や人材を活用し、キャリア教育の充実に努めていると感じる教師 100%⇒100% ★北浦のいろいろなことを勉強することができたと感じる児童 94%⇒93%	3.6	3.8	◎昨年度に続き、地域の素材や人材を活用してつながりをもつことができた。 ◎全学年で地域の方やものを活用した授業を実践できているので、継続して取り組んでいく。 ☆4年生の防災など、新たな取組も実施できたので、他の学年も内容をさらに充実させていきたい。
	地域と連携した体験活動や交流活動の充実	① 北浦わくわくタイム(総合的な学習の時間)の充実(海洋教育の実施) ② 地域との連携を大切にした生活科・総合的な学習の時間の充実 ③ 地域との交流活動の充実  ゴールイメージ 北浦のよさを知り、北浦を好きと思う児童が95%を占める。	昨年度に続き、海洋学習に関する体験活動を行った。また、茶摘み体験や元気塾との交流会を実施した。 ★ふるさと学習の推進に努めた教師 100%⇒100% ★北浦のよさを知り北浦を好きと答える児童 96%⇒97% ★子どもが北浦のよさを知り北浦を好きな気持ちが高まっていると答える保護者 78%⇒91%	3.8	4.0	◎今年度も多くの地域の方の支えがあり、充実した学習活動を展開することができた。1, 2年生は、学校の周りや地域の探検、3年生は茶摘みや元気塾との交流、4年生は水質調査や川下り体験、5年生は水産業の調べ学習、6年生は北浦PR活動に向けたインタビューやクルージング体験(3月に予定)などを行った。次年度も活動を継続し、体験活動の充実を図りたい。
	奉仕的活動の充実	① 北浦ピカピカ大作戦の充実  ゴールイメージ 地域に貢献できたと実感する児童が95%を占める。	4年生が防災学習で避難所までの経路を調べ、環境美化委員会と連携して、地域のクリーン作戦を年2回実施した。年末には、登校中のごみ拾い週間を委員会児童が呼びかけ、全校で取り組んだ。 ★奉仕活動の充実に努めている教師 未実施⇒100% ★地域に貢献できたと実感する児童 95%⇒96%	3.8	3.8	◎4年生の防災学習で避難所ウォークラリーを実施し、その活動をもとに委員会児童が主体となって避難所清掃をメインとしたクリーン作戦を展開した。環境美化に対する児童の意識を高めることができた。  ※ピカピカ大作戦をもっと地域に広めたい。